

# OCO A News

(大阪臨床整形外科医会会報)

第 1 号

昭和 59 年 8 月 20 日

## OCO A 会長に就任して

会長 坂本 徳成

日本臨床整形外科医会（JCOA）が発足して満10年が経過し、大阪臨床整形外科医会（OCO A）も7年目を迎えるに至りました。その間越宗正先生を世話人代表に、お忙しい稲松滋先生、原省吾先生、大村清先生……諸先生方のお世話で、着々とその基盤が築かれておりましたが、58年12月、越宗先生が引退されるにあたって皆様方の御協力や御援助により、現在のような理事会が発足致し、微力ながらも会長という大役をお引き受けることになりました。以来半年が過ぎ、各理事の先生のお力添えにより、会員も109名に達し、まず第一に正確な名簿作成を試みました。また、理事会も回を重ねること5回。

学術面では、2月25日に、現関西医大教授小川亮恵先生による「老人における整形外科的疾患」の講演会、5月26日には保健医協会主催の香川医大教授上野良三先生による「変形性股関節症の治療」の講演会の協賛、また今年後半には第1回症例検討会を、そして12月1日には奈良医大玉井進助教授による手の外科の講演会も予定しております。

す。ここ2・3年後には、日本整形外科学会認定医取得後研修の単位制に即した研究会も実施する必要があると考えております。

一方親睦面では、7月22日に第1回OCO Aゴルフコンペ（於竜王カントリークラブ）が開催され、秋（10月27・28日）には親睦一泊旅行も計画致しております。

対外的には、4月22日・6月23日に行われた各県代表者会議、4月19日・7月15日の社保懇談会、そして数回にわたる保健懇談会や近畿ブロック会への出席等々……。

このように少しずつ形態をととのえつつある本会の諸行事、諸計画もすべて会員の諸先生方の御協力、御援助があって有意義なものになることとでございます。まだまだ遅々とした歩みではありますが、皆様のお考えをどんどん吸収して、より充実した会へと発展させて行きたいと存じます。

どうか今後一層の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。

## 新 役 員 の 抱 負

### 副会長就任のご挨拶

昨年OCO Aの総会にて総務担当副会長として選出されました。浅学非才を顧みず、おひきうけいたしました。OCO A会員の団結並びに、会

### 副会長 三橋 二良

員の権利擁護につながる重要な責務を、一生懸命果たす覚悟でございます。よろしく御援助の程おねがいたします。

### 健保関係の事業目標

年々厳しい状況を来す、今日今頃です。新規の事業も、目新しいことも今の所ありませんが、出来るだけ意義のある事業を致す所存です。

#### (I) 健保法改正後の対応

最も大きな問題が今年度は提供されそうです。

### 健保担当 原 省吾

新聞紙上での発表よりみて、吾々もこの対応には頭を痛める所です。皆んなでいい智恵を出して下さい。

#### (II) 医療行政の将来展望

7月15日東京にてJCOA社保懇が開催され厚生省医務局、古川貞二郎医務課長の講演があり、

詳細な報告は本部より発表されると思います。概略の内容を申し上げます。

- 高令化社会に如何に軟着陸するか。
- 疾病構造の変化。
- 医学の進歩。
- 供給体制の変化。

### 医療の向上をめざして

初夏の候 先生には愈々御健勝の事とお慶び申し上げます。JCOAも各地にブロック制がしかれ全国組織として活潑な活動を展開致しておりご同慶にたえません。

昨今の医学の進歩は飛躍的であります。アカデミックな大学研究室の医学者と医療に従事する第一線の医師と間に或る離間を感じるると同時に両者間の有機的な連携が必要となって参ります。今日の医学水準が社会的要請となっておりますれば尚更その観を深くするものです。どうすれば両者間の有効なパイプ役をはたせうのか考えさせられますが脚下照観開業医の診療現場で日々発生する症例が多数埋没しております点にかんがみこうした症例の検討会の場をセットし率直な発言をい

### 秋の症例検討会に御協力を

整形外科の医局を育った開業医が年々増加し、地域医療の面でも他の科と匹敵し得るようになってきました。今後、我々が地域医療等で活躍するためには従来のような出身医局との間の縦のつながりだけでは不十分で、どうしても開業医同志の横のつながりを緊密に保つことが必要であります。従って整形外科開業医がお互いに知識や情報を交換する場を持って親睦と団結をはかることが、きびしさを増す医療環境の中で生き残って活躍する一つの途であると思われまふ。このためには越宗

### 厚生部の事業計画と抱負

会員相互の理解と親睦をはかるために、厚生部では、年2回のゴルフコンペの開催と旅行の実施を計画しています。

第1回ゴルフコンペは、7月22日、竜王ゴルフコースで開催、参加人員16名、1ラウンド、ストロークプレーで競技致します。第2回コンペは、初年度のことゆえ、旅行と一緒に開催する予定です。

親睦旅行は、10月27日(土)から28日(日)を予定し、山中温泉に一泊、翌日はゴルフ組と観光組にわかれ、夕方、安宅の関「長沖」に集合し、夕食の後、帰阪の旅で計画しています。現在出席予定者9

- 税と社会保険負担。
- 開業医の未来。
- 医師数の増加。
- 医療費の適正化。
- 診療報酬
- 医業経営の安定確保等でした。

### 学術担当 黒瀬 寅次

ただき専門家の提言を交え乍ら地道な活動を通じ医療の向上に資すべきではないかと考えております。会員各位の御協力をたまたわり貫の一端をはたしたいと思ひます。こうした検討会を土台に会員にサロンの場を提供すれば自然に診療報酬、将来の開業医像、病診連携等忌憚のない意見交換も可能となり本会発展の一助ともなりうるものと考えております。

現在医療をとりまく環境は暗く又ニューメディア時代の医療を暗中模索していかねばなりません。当面急速な高令化社会においては運動器を司る我々整形外科医の未来は、運動療法、リハビリテーション等、他科にない明るい展望がひらかれる余地があります。明るい希望をもって前進したいと存じます。

### 学術担当 大橋 規男

先生をはじめとした前執行部の御努力、御苦勞によって出来上った本会を更に充実発展させるよう微力ながら努力したいと思ひています。差し当っては従来の学術集会の他に症例検討会(仮称)を開いて日常診療に必要な医学的知識の充実に向上をはかりたいと思ひていますので、皆様方の積極的な御助力を切に希望致します。また広報活動をもう少し活潑にして各種情報の伝達や交換が円滑に出来るような具体案を検討したいと思ひています。会員の皆様の御指導と御鞭撻を御願ひします。

### 厚生担当 村上 白士

名、未定12名と参加者が少なく、今後各個に勧誘するつもりでいます。

会員がお互いに友情と親睦を深め、楽しい雰囲気を作っていくことは、会の発展のために非常に大切なことと思ひます。

初年度のことゆえ、ゴルフ部会員43名中、第1回コンペ参加は16名、旅行の参加も9名+αとさびしい限りですが、総会や研修会等の機会を利用して、会員がお互いに知り合い、親睦と友情を深める手助けをしていき、今後は出来るだけ多くの会員に参加して頂けるよう、努力したいと考えています。

## 各 部 報 告

### 昭和59年度O C O A 庶務及び事業中間報告と事業計画

副会長 三 橋 二 良

1) 庶務及び事業報告

① 会員状況

期首(58.12.3)76名、(59.7.31)現在 110名

② 会議開催状況 (58.12.1~59.7.30)

○ 総会(定時総会(58.12.3)於ホテル南海)

○ 定例理事会 5回

出席役員 延合計 52名

○ 研修会

58.12.3. 「最近の骨折の治療」

府立病院、浜田先生 於ホテル南海

59. 2.25. 「老人に於ける整形外科的疾患」

関西医大、小川助教授 於日光ホテル

59. 5.26. 「最近のO.A.の治療について」

香川医大、上野教授 於社会福祉会館

○ その他諸会議出席状況

59. 1.28 兵庫県臨床整形外科医会

於神戸貿易センター

59. 3.13. 第6回近畿ブロック会議

於京都なかむら

59. 4.22. JCOA各県代表者会議

於東京

59. 6.23. 各県代表者会議

於札幌第一ホテル

59. 6.23. JCOA総会10周年記念式典懇

親会 於北海道ペケレット湖園

59. 7.15. 第7回全国社保懇談会 東京

59. 7.22. 第1回O C O A ゴルフコンペ 竜王CC

2) 事業計画

59. 9.22.~24. 第11回JCOA研修会

(宮城県仙台)

59. 9.22. 各県代表者会議 (仙台)

59. 9.22. 全国保険懇談会 (仙台)

59.10.27.28. O C O A 秋の一泊懇親旅行

59.12. 1. O C O A 総会

(三和化学5Fホール新大阪)

講演会

「Mikrosurgeryを応用した四肢再建手術  
について」 奈良医大助教授 玉井進

### 第57回 日本整形外科学会評議員会の報告

恒例の如くT.C.O.A選出の評議員の事前の打ち合せ会のあと、PM2時から日整会の評議員会へ出席いたしました。われわれに関係の深い項目について列記いたします。

1. 名誉会員推薦の件：関西医大の森教授、京都の桐田先生等の5名の方が推薦された。

2. 次期日整会総会：開催地は岐阜、会長は赤星教授、会期は昭和60年4月7日(日曜日)から3日間。

3. 次期副会長(次期会長予定者)の選挙：慶応の泉田教授に決定。

4. 認定医制度の規約改訂：2年間の経験にもとづいて一部不明確な部分を、わかり易く明記された。

5. 日整会認定医名簿作成：発行の予定

6. 教育研修会について(卒後生涯教育の件)：

### 担当理事 伊 達 成 幸

59年度から認定医の教育研修委員会を発足し、同委員会は認定医に、2年間で12単位(1単位1時間)の研修を受けさせ、その受講証明書の写しを、中央資格認定委員会へ送付させるというようなことになった。この研修会は、昭和63年より義務づける予定。

7. 評議員選挙施行細則の一部変更の件：会員の所属地区は9月1日の学会雑誌送付先で決る。投票用紙への記載は指定する人数以内であればよく、すなわち単記でもよいことになった。その他、いろいろな件で討議がされましたが、主なところは、以上のようなところです。簡単ですが御報告いたします。

## 第一回ゴルフコンペの報告

(厚生部)

OCOA第1回ゴルフコンペは7月22日(日)滋賀県、竜王ゴルフコースで開催されました。梅雨明けの不安定な気圧配置でしたが、幸い天候に恵まれ、晴時々曇、微風と云う快適なコンディションで、15名の会員が参加し楽しい一日を過ごしました。

優勝 篠原良洋先生 ネット 65.7  
 2位 西 崇男先生 68.0  
 3位 首藤三七郎先生 70.6  
 B. G. 八幡雅志先生 グロス 78

以下6位迄アンダーパーと云う好スコアでした。

第2回コンペは10月28日(日)親睦旅行と同時に片山津GCで開催の予定です。来年度からは春・秋年2回開催することに決まりました。第3回コンペは60年5月19日(日)瀬田GCで開催致します。改めて御案内致しますが、多数御参加頂きますことをお願いします。

## OCOA会計中間報告

期間 自 昭和58年11月17日  
 至 昭和59年7月15日

収支計算書並びに貸借対照を作成し御報告申し上げます。

会計 (山本 光男  
 馬場 貞夫)

### 1) 大阪臨床整形外科医会

前期繰越金 867,695  
 今期収益金 267,088

1,134,783

### 2) 大阪臨床整形外科医会貸借対照表

昭和59年7月15日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
現 金	390,200	前期繰越金	867,695
普通預金	595,763	支出引当金	267,088
定期預金	500,000		
計	1,134,783		1,134,783

### 3) 大阪臨床整形外科医会収支計算書

自 昭和58年11月17日  
 至 昭和59年7月15日

支 出		収 入	
印刷通信費	70,580	会 費	581,600
近畿ブロック会費	10,000	普通預金利息	5,468
兵庫臨床整形祝金	30,000		
交 通 費	49,000		
出 張 費	155,400		
雑 費	5,000		
収 益 金	267,088		
	587,068		587,068

新年理事会 (59. 1. 12)

- 1) 兵庫県臨床整形外科学会に出席の件  
三橋、原、大橋各理事出席予定。
- 2) 大阪府単科医会連絡協議会決議文の件  
各会員に発送。
- 3) 大阪府臨床整形外科医会名簿作成の件  
2月25日の定例理事会にて再度検討の上作成。
- 4) 退会の申出者の取扱いの件  
同門の組織担当者が事情を聴取の上善処する。
- 5) JCOA本部の大阪府の役員名簿送付の件  
全員了承。
- 6) 学術講演会 (2. 25) の件
- 7) その他
  - ① 越宗正先生を本会顧問に推薦 (坂本会長)
  - ② 昭和58年12月3日開催の総会及び研究会の  
報告書を各近畿ブロック・JCOA本部、  
大阪府単科医会に送付。
  - ③ 勤務医の入会是非について (大橋理事)  
随事可とするも積極的には勧誘せず。
  - ④ 瀬戸先生 (京都府立医大卒) 入会勧誘及び  
入会後理事に推薦の件 (大橋理事)
  - ⑤ 1月18日整会認定医審査委員会近畿ブロッ  
ク会に伊藤成幸理事出席。

第2回理事会 (59. 2. 25)

- 1) 兵庫県臨床整形外科医会の学会の報告  
当会より 三橋、原、大橋理事が出席  
兵庫県の会員数 182名 (勤務医を含む)  
全員日整会々員  
会費 勤務医 年額 3,000円  
開業医 " 10,000円  
研究会 年3回  
更に会員を4~5ブロックに  
分けて症例検討会を催す。

当日の講演 ① 中高年の心理と病理

松下電器健康管理センター副所長  
京都教育大学講師

小西 輝夫

② 整形外科の未来像

日本臨床整形外科医会副会長  
高山整形外科病院院長

高山 瑩

- 2) 大阪府単科医会連絡協議会の報告  
府下に13の単科医会  
「決議文」を府医師会長及び、郡部の医師  
会長へ送付。
- 3) OCOAアンケートの報告の件  
回収 85名中58名 (68%)  
現在先生は、ゴルフを する 34名  
しない 24名  
大阪臨床整形外科医会のゴルフコンペがあれば参加  
する 28名  
しない 27名  
不明 3名  
第1回ゴルフコンペ (7月22日) に参加  
する 24名  
しない 34名  
秋の一泊親睦観光旅行に参加  
する 23名  
しない 35名  
アンケートの結果参加希望者が定員オーヴ  
ァー、検討の末予定通り実施。
- 4) 役員の電話連絡網の件  
会長に一任。
- 5) J.C.O.A近畿ブロック会への出席の件
  - ① 日整会の認定医制度とリウマチ学会専門医制度と  
の関連について、日整会の方針にO.C.O.Aは準ず。
  - ② 社保懇が7月15日仙台で開催予定  
議題を求む。(原理事)
  - ③ 近畿ブロック会の年会費について  
OCOAも予算制度化が必要。(稲松監事)
- 6) 次回研究会の件
  - ① 5月26日 (香川医大 上野良三教授)  
OCOAは協賛。
  - ② 12月1日出総会時  
(手の外科 奈良医大玉井助教授)
  1. 名札着用
  2. 自己紹介
- 7) 広報部設立の件  
広報部長 大橋規男先生。
- 8) その他
  - ① 瀬戸信夫先生会則にもとづき新理事就任。
  - ② 名簿作成。
  - ③ OCOA基金より50万2年定期。
  - ④ 日整会学術総会は土、日曜日を含むよう要請。

### 第3回理事会（59.3.14）

- 1) 近畿ブロック会の報告  
報告事項
  1. 第2回JCOA理事会について
  2. 委員会の会議費と旅費について
  3. JCOAニュースの予算化について
  4. 事務局だより（毎月出す）
  5. 会費値上げについて（据え置く）
  6. 各ブロック会の費用について（各々費用捻出）
  7. 日医診療報酬検討委員会報告
  8. JCOA学術集会（信原委員長、吉良、南委員）
  9. 慶弔規定（会員死亡本部より2万円）
10. 会計報告  
協議事項
  1. 今後の近畿ブロック会について
  2. 保険についての連絡会
  3. 研修会について（隣接府県で交流しては？）
  4. 各府県の医師会と整形外科医会との関係について
  5. リウマチ専門医制度について
  6. 次回幹事（兵庫県担当9/1~9/2）
- 2) JCOA10周年記念功労者推薦の件  
越宗正先生及び現理事、幹事を推薦  
本部の意向を打診
- 3) OCOA名簿作成の件  
早急に作成のこと
- 4) その他
  - ① 新任理事として京都府立医大卒の瀬戸先生を紹介。
  - ② 12月1日のOCOの総会々場は三和化学営業所5Fホール(新大阪)にて行うことに決定。
  - ③ 5月26日の保険医協会外科研究部会主催の研究会はOCOも協賛するので全会員に案内状を発送。尚、当日の座長は、学術担当、副会長吉田先生に又、謝辞は原理事におねがいすることとなった。
  - ④ 7月22日のOCOの第1回ゴルフコンペは彦根プリンスホテルに6名宿泊して、2組（8名）増員可能となる。従ってゴルフ場は、合計6組予約可となる。7月21日役員の先生方の宿泊をおねがしたい。(村上)
  - ⑤ 秋の一泊旅行は、村上理事が試案を作成し、三橋副会長、厚生担当の村上、大橋、瀬戸理事が中心となって早急に検討。
  - ⑥ 9月1日のJCOA近畿ブロック会への参加者は坂本会長、吉田、三橋副会長、村上、伊藤、大橋、瀬戸の各理事に決定。
  - ⑦ 症例検討会の第1回当番幹事は大橋理事におねがいすることとなり、9月か、10月頃に開催予定。
  - ⑧ 次回理事会は5月9日(水)午後8時30分に決定。
  - ⑨ 今後は電話連絡網により連絡。

### 第4回理事会（59.5.9）

- 1) 59年度第1回JCOA各県代表者会議の報告
  1. 理事会報告（会計・事業報告・計画等）  
学術振興基金の件について
  2. 表彰者は最終的には未決定
  3. 第11回仙台研修会について
  4. 札幌総会 10周年記念式典について
  5. 6月23日各県代表者会議の議題について
  6. リウマチ認定医について
  7. JCOA賛助会員募集の件  
4月22日現在全口で65  
その内大阪は 川本綱帯樹（村上理事）  
池上義肢製作所（坂本会長）
  8. その他  
7/15社保懇談会について（原理事）  
厚生省より専門家を招聘して800項目にわたる医療改革の説明を、医師側から7~8項目の質問を、午後は、日医幹部を招聘して懇談会を、又、アンケートを実施の予定。  
58. 5. 総金額 点数 }増減データ作成  
59. 5. " " }
- 2) 第1回ゴルフコンペ  
7月22日 竜王C.C 8:30スタート  
第1回親睦旅行  
10月27・28日 山中温泉方面に決定
- 3) 第1回症例検討会の件  
部位や疾患をしぼって症例を集めるべきか？  
症例が集まった場合、それをどう処理するか？  
その場で結論が出ぬ場合は専門家をたずねる  
テーマをしぼらずに気軽に話し合える会合へ  
いろいろな方法で検討しながら、だんだんと方向づけをしていく。  
今秋をめどに第一回症例会を開催。
- 4) その他  
会誌発行の件  
各担当理事の事業計画及び報告  
原稿用紙2枚位に次の理事会までに横書きで、  
瀬戸理事へ提出。

#### ~~~~~1口メモ「賛助会員」~~~~~

JCOA会計の流動資金の拡充の為に、  
単会員扱いとする会員を、製薬メーカー、  
及び関連業者を対象に入会を募集された  
もの。年会費5万円也

## 第5回理事会 (59. 7. 18)

- 1) JCOA 社保懇報告 (7月15日東京) (原)
  - 厚生省医務局の古川医務課長講演(2頁参照)
  - 日医健理事報告  
7/4からの政府交渉の経過  
診療報酬のからみ  
医師会の政治的な力
- 2) 日整会評議委員会(6月21日於札幌)(伊藤)  
(3頁参照)
  - 副会長選出の件  
総会にて泉田先生に決定、再来年の学会は、東京にて開催
  - 日整会名誉会員の件
  - 次期日整会 (赤星会長)  
60 4/7 (日)、4/8 (月)、4/9 (火) 於岐阜
  - 定款の一部改定  
賛助会員の項をもうけ、費用を捻出して会費を値上げしないようにする。
  - 評議委員の選出方法の変更  
3名連記制だったものを2名でも単記でも可
  - 認定医制度の不備な点を変更  
教育研修委員会を作り、2年間に12単位を修得、1時間を1単位、講師は大学の講師以上
- 3) JCOA 総会の報告(6月23日於札幌) (吉田)
- 4) JCOA 各県代表者会議( " )の報告(坂本)
- 5) 第1回ゴルフコンペ及び親睦旅行の件(村上)  
7/2 (於竜王C.C)

参加者 16名  
プレイ費 各自払い  
会費 (5,000円) パーティ代  
賞品 稲畑産業  
寄付 マルホ (10,000円)  
親睦旅行 現在参加者 9名  
バス旅行は無理

厚生部用の口座  
三和銀行森小路支店  
(普) No. 424959  
大阪臨床整形外科医会厚生部  
村上 白士

- 6) 症例検討会の件 (大橋)  
59. 11. 10. 於三和化学大阪メディカルホール  
(新大阪)
- 7) OCOA ブロック制について (書類送達等の為)  
(三橋)  
全員一致で承認
- 8) その他
  - イ) 9月1日第7回 JCOA 近畿ブロック会の件  
吉田、伊藤、大橋、村上、瀬戸、坂本の各理事方が出席予定
  - ロ) 会誌は瀬戸、大橋両理事に原案をねっていた  
だき形式が決り次第大正製薬へたのむ
  - ハ) OCOA も賛助会員をつのってはどうか?

## JCOA だより抜粋

本年2月より JCOA 理事会と各県代表との連絡を目的として「日本臨床整形外科医会事務局だより」が毎月発行されていますのでその概略をお知らせします。

### Vol.1. No. 1 (1984. 2. 27)

1. 会員の現況報告 (全会員 2742 名)
2. 昨年の事業報告と今年の計画予算  
(JCOA News 参照)
3. 日整会教育研修講座について  
(認定医に対する研修。JCOAとしての学術集会も予定)
4. 会則変更(役員は各県代表を兼ねる事が出来ない等)
5. 各県記念事業のお祝い金(JCOAより3万円出す)
6. 賛助会員・学術振興基金について
7. JCOA 10周年記念行事について  
(6月23日札幌で記念式典。9月仙台で研修会記念講演。記念誌発行予定)
8. 体協との問題について

### Vol.1. No. 2 (1984. 3. 30)

1. JCOA これからの行事予定 (JCOA News 参照)
2. ブロックだより

- 近畿ブロック会、3月10日 京都で開催
- 関東ブロック研修会、2月18日 東京で開催  
関東ブロック各県代表者会議 3月3・4日 栃木県で開催

3. 日整会だより (JCOA 関係の出題者紹介)
4. 日整会社保委員会報告
5. 各委員会だより
  - 社保委員会 (9月22日 JCOA 社保懇談会、  
12月2日全国保険審査委員会)
  - 会誌編集委員会(秋に10周年記念誌予定)
  - 学術委員会(認定医のための学術集会・学会誌  
刊行を計画したい)

### Vol.1. No. 3 (1984. 5. 8)

1. 社保委員会より  
9月22日(土)仙台東急ホテルで JCOA 保険懇談会  
テーマ「改正後の保険点数の不合理な点」  
「次期改正時における要望」  
12月2日(日) 全国社保審査委員連絡協議会
2. 研修会だより

(仙台研修会 5月5日現在、会員247名予備登録)

- 3. 各県だより  
(秋田県では開業医だけの第1回総会、5月12日)
- 4. 4月の新入会  
(大阪24名、福岡6名、沖縄6名、東京2名、高知1名)

**Vol.1. No. 4 (1984. 6. 4)**

- 1. 研修会だより (本登録をして下さい)
- 2. 各県だより  
(秋田県と茨木県で会が発足しました)  
秋田県整形外科開業医会  
日本臨床整形外科医会茨木県支部

- 3. 事務局だより  
(10周年記念表彰者正式決定各県会員の約10%)

**Vol.1. No. 5 (1984. 6. 28)**

- 1. 総会 10周年記念式典の報告  
6月23日 於ベケレット湖畔 出席130名  
日整会報告、事業会計報告、慶弔規程承認  
10周年記念表彰(255名)
- 2. 各県代表者会議  
(6月23日、於札幌第一ホテル、出席65名)
- 3. 賛助会員の募集に協力を
- 4. 事務局にワープロが入りました

**会員名簿追加と訂正**

○ 会員名簿追加

郵便番号	ふりがな氏名	開業別 勤務	医療機関名称	医療機関所在地	電話番号	自宅住所	電話番号
567	ましも たけみ 真下武己	開業	マンモ医院	茨木市大池 2-1-25	0726 35-1131	同左	0726 35-1132
570	きらきだお 吉良貞雄	"	吉良 整形外科	守口市高瀬町3-45	06 998-7600	〒565 吹田市古江台2-5-15	
595	かわい ひでろう 河合秀郎	"	河合整形 外科病院	泉大津市豊中955-5	0725 21-6222	泉大津市戎町6-10	0725 32-6328
567	おおたけせつろう 大竹節郎	"	大竹 整形外科	茨木市総持寺 1-17-26	0726 27-2291	同左	0726 27-2291

○ 会員名簿の訂正とおわび

誤 正

木 殷 康 時      木 殷 康 時

991-2730      996-0833

OCOA会員の先生方へ

OCOAをより良い会にするために、会員の先生方の御意見、御希望等を下記宛お寄せ下さい。会誌発行の予定もあります。

OCOA広報担当 瀬戸 信夫  
〒535 大阪市旭区大宮2-17-14  
TEL 951-2387



一口メモ

「学術振興基金」

第56回、日整会総会に於いて、JCOA三木仁会長が名誉会員として表彰され、それを記念して三木会長は、金100万円をJCOAに寄附された。JCOAはこの100万円を基に、学術振興基金を設立し、JCOA会員よりの寄附金をこれに加算して、基金の拡大充実を画り、将来はこの基金より、JCOA会員の優秀な学術研究論文に対し、表彰することを目的とした基金。

編集後記

会員諸氏の期待に反して、健保法の改正も大きな修正もなく国会を通過しました。加えて今夏の猛暑、皆様如何お過ごしですか。

OCAO会員相互の意志疎通のためにも、早急に広報誌をとの声も多く、OCAO Newsとして年数回発行の予定です。

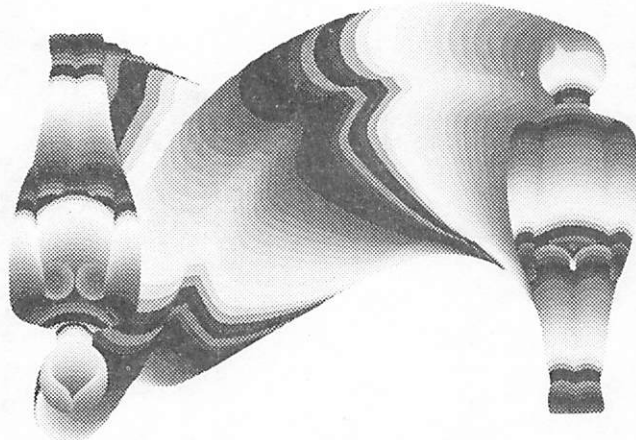
の会報を出すことになりました。第1回目なので、新役員の抱負、各部の計画や報告を主体に、理事会報告、JCOA事務局だより抜粋、を掲載しました。理事会は概ね2ヶ月に1回開かれておりますが、その議事録から簡単でもなるべく内容がわかる様に配慮したつもりでしたが、出来上ってみると、内容に重複箇所があり、JCOA広報誌とのかさなりもみられます。

今後は会員の皆様の御意見や、学術集会の要約等も加えて内容の充実を計りたいと存じていますので、諸先生方の御意見、御希望等の投書も奮ってお願い致します。(N.S記)

発 行 大阪臨床整形外科医会  
 事務局 大阪市東区安土町2-30  
 大阪国際ビル16F  
 坂本整形外科内  
 電話 06-266-0666  
 編 集 者 坂 本 徳 成  
 三 橋 二 良  
 大 橋 規 男  
 瀬 戸 信 夫

RX96B52B

運動制限の原因となっている  
 疼痛の改善に



筋緊張性疼痛疾患治療剤

リンラキサー<sup>®</sup>錠

125mg・250mg

カルバミン酸クロルフェネシン製剤 ●健保適用

RINLAXER

〈効能・効果〉運動器疾患に伴う有痛性痙縮：  
 腰背痛症、変形性脊椎症、椎間板ヘルニア、  
 脊椎分離・沁り症、脊椎骨粗鬆症、頭肩腕症候群。



大正製薬株式会社

東京都豊島区高田3-24-1

●ご使用の際は製品添付文書の用法・用量、使用上の注意をご覧下さい。

急性・慢性疾患に対し、他剤に類をみない17の効果

非ステロイド性消炎・鎮痛・解熱剤

オパイヤリン<sup>®</sup>錠